2024年度

看護部年間教育計画

【教育目的】病院・看護部の理念を実践できる専門職として、質の高い看護サービスを提供できる、やさしさと思いやりのある看護師を育成します。
【教育目標】1．専門的知識、正確な判断・技術を習得し、根拠を持った看護実践能力の向上を目指します。
2．看護職の倫理綱領に基づいた行動ができる、豊かな感性と人間性を養います。
3．患者・家族を中心とした、チーム医療における看護師の役割を認識した看護を実践できる能力を養います。
4．看護実践に活用できる研究能力を養います。
5．看護職業人として自覚を持ち、組織の一員として自律した行動ができる人材を育成します。

湘南東部総合病院

	対象者	目的・到達目標	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実務Ⅰ	新卒 入職～1年 既卒 経験1年未満	目的 1．看護チームの一員としての役割を認識する。 2．チームメンバーとしての職責を果たすために必要な能力を獲得する。 目標 1．自立した看護実践を行う為の知識・技術を身につけることができる。 2．安全で確実な看護を実践できる。 3．職場環境に適応し、よりよい人間関係を築くことができる。 4．看護チームの一員としての自覚を持ち、積極的に看護に取り組むことができる。	院内	①新人ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(4/2) 看護部概要、教育システム、倫理、目標管理 ②新人入職研修(4/2～4/5) 接遇、医療安全、 褥瘡の基礎知識、感染管理 記録・看護必要度 ②臨地研修（4/8～4/12） ③看護技術、基準手順（4/25） 看護技術習得（各部署）	③ME機器の使い方 （ポンプ・シリンジポンプ）（5/9） ④夜勤 オリエンテーション （5/23）	⑤3か月フォロー ～BLS～ （6/20） 技術チエック①	⑥コミュニケーション ～基礎～ （7/18）	⑦メンバーシップⅠ 報告の仕方（SBAR） （8/22）	⑧6か月フォロー リフレッシュ研修 （9/19） ナラティブ ガイダンス （9/19） 技術チェック②	⑨多重課題 （10/17） ナラティブ計画書提出	⑩ACLS （11/14）	⑪9か月フォロー 看護倫理 （12/19）	ナラティブ 提出 （1/15）	⑫ナラティブ 発表 （2/6） プリセプター評価表 技術チェック③	⑬1年フォロー ～1年の振返り～ （3/13） 技術チェックの 不足部分補う研修
			学研		ポンプの取り扱い （AA2404）	臨床判断能力 （AA2402）	コミュニケーションの特徴 （AA2465）	アセスメント力 （AA2401）	看護師資格は一生涯 （AA2411）	多重課題 （AA2410）	急変対応 （AA2455）	日常ケアで生じる倫理的課題 （BD2404）			アサーションの基本 （AA2451）
実務Ⅱ	卒後 2年目	目的 1．看護チームにおける自己の役割を認識する。 2．チームメンバーとしての職責を果たすために必要な能力を獲得する。 目標 1、個別性のある看護を実践できる。 2、日々発生する問題を解決する手だてを見出すことができる。 3、チームメンバと円滑な人間関係を築くことができる。	院内		看護記録 看護必要度 （5/16）	目標管理（PDC） （6/6） 技術チェック①	人工呼吸器装着中の看護 （7/4）	看護過程Ⅰ （8/8）	メンバーシップⅡ ～自己分析～ （9/5） 技術チェック②	看護過程Ⅱ （10/3）	ナラティブ計画書提出		プリセプター研修 （1/16）	ナラティブ提出 （2/15） リーダーシップⅠ 理想のリーダー像 （2/13） 技術チェック③	ナラティブ発表 （3/6） 看護実践能力の 到達度評価
			学研	チームで取り組む急変対応 （AB2451）	看護必要度評価のポイント （BC2401・2402）	目標管理 （AC2451）		いま学びなおす看護過程 （AA2412）	メンバーシップ フォロワーシップ （ALA2453）	いま学びなおす看護過程 （AA2412）			プリセプター入門編 （ALA2401）	プリセプター実践編 （ALA2402）	
	卒後 3年目		院内				コミュニケーションⅠ ～アサーティブ～ （7/11）		リーダーシップⅡ ～入退院支援～ （9/12）		看護倫理 （11/21）		リーダーシップⅢ カンファレンスの方法 （1/30）	看護観提出 （2/28）	看護実践能力の 到達度評価
			学研		看護必要度評価のポイント （BC2401～2403）		アサーションの実際 （ALA2452）		意思決定支援 （AB2404）		倫理入門 （CD2401）		看護を考えるロールプレイ （ALB2455）		始めてのリフレクション （ALB2456）
実務Ⅲ	卒後 4～5年目 臨床指導者 教育担当者	目的 1．医療チームにおける自己の役割を認識する。 2．指導者層としての職責を果たすために必要な能力を獲得する。 目標 1．職場目標を達成するためのより良い看護が実践できる。 2．日々の業務の中で、効率的な運営を図ることができる。 3．業務上発生する問題の解決に向けて、上司・看護者へ働きかけることができる。 4．円滑な人間関係を図りながら、チームメンバーに教育的に関わることができる。 5．看護実践の役割モデルとしての職責を自覚し、 自己の成長を図るための課題を明確にできる。	院内	臨床指導者研修（学校と） 実習指導者会議 外部研修 （臨床指導者講習会）	看護記録 看護必要度 （5/30）	目標管理（PDC） （6/27） 技術チェック①	コミュニケーションⅡ ～コーチング～ （7/25）	臨床指導者研修 （学校と）	技術チェック②	リーダーシップⅣ ～問題解決～ （10/10）		看護倫理 （12/12）		技術チェック③	看護実践能力の 到達度評価
			学研	フィジカルアセスメントを伝授する （AB2401）	看護必要度評価のポイント （BC2401～2403）	目標管理 （AC2451）	ティーチング （ALB2452） コーチング （ALB2453）		看護者として考える カンファレンス （AB2310、45分）	「いま」求められるリーダーシップ （AC2452）		倫理カンファレンス （CD2402）		オリエンテーション （BBS2301、30分）	キャリアプランを立てよう （CK2403）
実務Ⅳ	卒後 6年目以上	目的 1、医療チームにおける自己の役割を認識する。 2、指導者層として職責を果たすために必要な能力を発揮できる。 目標 1、看護チームの推進力となり看護の質の向上に貢献できる。 2、社会の変化や医療の進歩に応じた看護が実践できる。 3、チームメンバーに教育的な関わりができる。 4、看護管理能力を身につけ中堅としての役割を認識して行動できる。 5、自分の目指すキャリアアップに主体的に取り組むことができる。	院内	外部研修 （ファーストレベル） （セカンドレベル） （認定看護師）		目標管理 （6/13）			リーダーシップⅤ ～マネジメント力～ （9/26）		看護倫理 （11/28）				
			学研	チームワークのあり方 （CK2453）	看護必要度評価のポイント （BC2401～2403）	目標管理の中間評価 （AC2456）	コミュニケーション力 （CK2404）		専門性の高い看護師の活かし方 （AC2403）		臨床倫理 （CD2403）		目標管理の期末評価 （AC2405）		キャリア形成支援 （AC2406）
看護研究	研究 対象者	目的 1．看護研究の意義を理解し、実践することにより看護の質の向上を図る。 2．看護研究の成果を実践の場で患者ケアに活用する。 目標 1．看護研究について理解する。 2．看護の事象から生じる問題を研究的視点でとらえることができる。 3．解決したい問題を科学的・理論的に考察で論証することができる。 4．文献の活用ができる。 5．看護研究のプロセスと成果を通して知識を深めることができる。 6．看護研究の成果後実践場面で活用できる。	院内			看護研究 相談・実施 （6/6） 15:00～16:00		看護研究 相談・実施 （8/8） 15:00～16:00		看護研究 相談・実施 （10/3） 15:00～16:00		看護研究 相談・実施 （12/12）	院内研究発表会 （1/23）	論文提出(2/28)	論文集発行
			学研	院内発表につなげる気づき （BBH2401）	文章の書き方 （BBH2402）	実践につなげる研究 （BBH2403）	倫理的配慮の基本 （BBH2404）	文献はなぜ読むの （BBH2405）	発表で気をつけること （BBH2406）		研究を発表する （BBS2413）				
管理者研修	副主任	目的 1、副主任としての役割を理解し、行動することが出来る。 目標 1、看護実践者の第1人者として、ロールモデルになる。 2、主任看護師を補佐し、業務上の問題解決に参画する。	院内	主任副主任研修 （毎月第4金）											レポート提出
			学研												
	主任	目的 1.看護課長と共に、看護単位の目標達成に向けた自己の役割を認識する。 2.主任看護師の職責を果たすために必要な能力を習得する。 目標 1.教育指針　目標１～7	院内												レポート提出
			学研		クレーム対応 （CK2402）		キャリアプランを立てよう （CK2403）		コミュニケーションの力 （CK2404）		社会人基礎力の必要性 （CK2454）		個人情報の適切な取り扱い （CK2451）		
	課長	目的 1.看護部の方針と目標を理解し、看護単位の目標達成に向けた自己の役割を認識する。 2.看護課長の職責を果たすために必要な能力を習得する。 目標 1.教育指針　　目標１～7	院内	課長研修（毎月第4水）											
			学研		医療の効率化 （AC2454）	労務管理入門 （AC2400）	人材評価と育成 （AC2401）		看護師の活かし方 （AC2403）	レジリエンス （AC2404）		病床管理 （AC2455）	目標管理 （AC2405）	中堅看護師の育成 （AC2406）	
看護補助者		目的 看護補助業務としての患者介護について必要な知識・技術・態度を習得する。 目標 1、業務を遂行する上で必要な基本的な知識・技術・態度を身につけ、 安全で確実な介護業務を実践できる。 2、看護チームの一員としての自覚を持ち、メンバーシップを発揮できる。	院内	各部署にて研修 介護技術習得（各部署）											
			学研		医療制度の概要および病院の機能と組織の理解 （BAA2401） 倫理の基本～医療機関において求められる倫理的な行動～ （BAA2406）	守秘義務、個人情報保護の基礎知識 （BAA2403） 排泄のお世話～排尿・排便のお世話、おむつ交換など～ （BAA2410）	接遇・マナーの基本～患者・家族へのかかわり方～ （BAA2405） 移動のお世話～歩行、車椅子、ストレッチャー、スライディングボード～ （BAA2414）	チームの一員としての看護補助者業務の理解～業務範囲と役割、夜勤業務、ほう・れん・そう～（BAA2402） 入浴のお世話（BAA2408）	医療安全～患者誤認による重大事故対策を中心に～ （BAA2416） 食事のお世話～食事介助の基本～ （BAA2411）	労働安全衛生の基本的知識 （BAA2404） 洗面のお世話～顔を拭く、ひげを剃る～（BAA2412）	感染予防～手指衛生、標準予防策など～（BAA2417） 環境整備～ベッドメーキング、リネン交換など～ （BAA2407）	認知症患者の対応 （BAA2318、19分） 療養生活上の世話にかかわる業務マニュアル （BAA2319） 口腔ケア（BAA2313、22分）		診療にかかわる補助業務の基本 （BAA2415） 清潔のお世話～清拭、洗髪～ （BAA2409）	看護補助者が知っておきたい実践医療用語（BAA2420）

認定看護師	全職員	目的 1.社会の動向に沿った質の高い看護サービスが提供できる 2.各領域における看護の専門性を理解し、質の高い看護を提供できる看護師を育成する。 目標 1.看護に必要な専門知識を深め、実践に役立てる事ができる。 2.医療看護の動向を知り、視野を広げることができる。 3.組織的な活動を主体的に実践できる。		認定看護師会にて実施											
災害対策				災害支援ナースと協働	e-ランニングの視聴確認										
医療安全				医療安全と協働で実施											
感染管理				ＩCNと協働で実施											